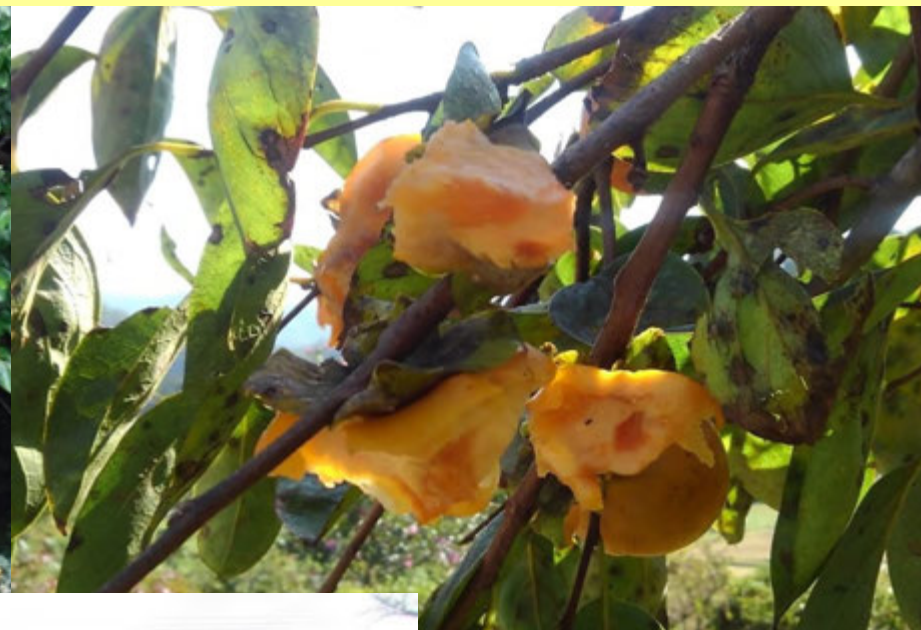
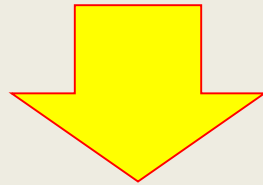


誘引果樹伐採事業を展開



鳥獣専門指導員の活動事例

クマの大量出没が発生、連日のカキの被害
対応



この地域は、これまでクマによるカキの被害
はほとんど発生していなかった。。。



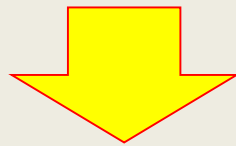


電気柵・トタン巻きの設置指導、カキもぎ。

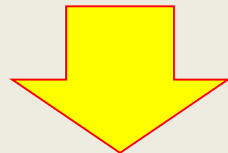
⇒住民への電気柵普及

⇒市町担当者職員のスキルアップ

現場対応で浮かび上がる課題



捕獲、被害対策をしても被害が止まらない



空き家のカキ被害は誰が対策をする・・・

高齢者のカキ対策は・・・

カキを伐採したくてもできない・・・

クマ対策検討会

【住民】

クマと人とどちらが大事なんだ！
保護しているからこんなことになる！
事故が起きたらどうする！



【猟師：〇氏】

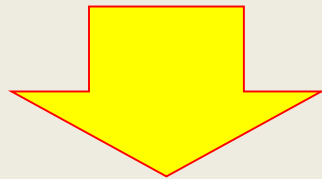
〇氏：鳥獣専門指導員と一緒に対策を行っていた方。

「トタンを巻いたり、電気柵などの被害防除が一番効果的だった！」

今まで捕獲一辺倒だった猟師が対策検討会の場で、このような発言をしてくれたのは総合的な対策の大きな一歩！

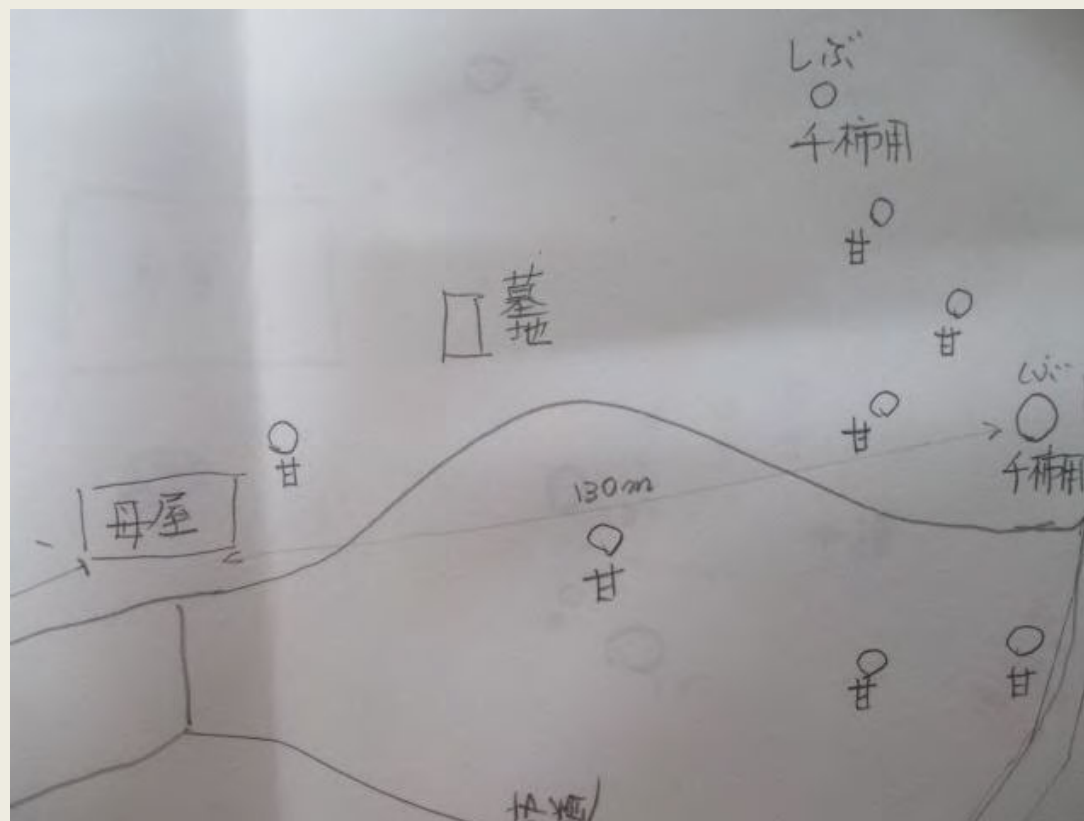
検討会后

⇒O氏が中心となりカキの本数と被害木の本数を調査



地域に精通している猟師がやってくると地域が動く！

・甘力キ:214本 渋力キ:130本 合計344本
⇒伐採:7本 伐採可能な木:27本









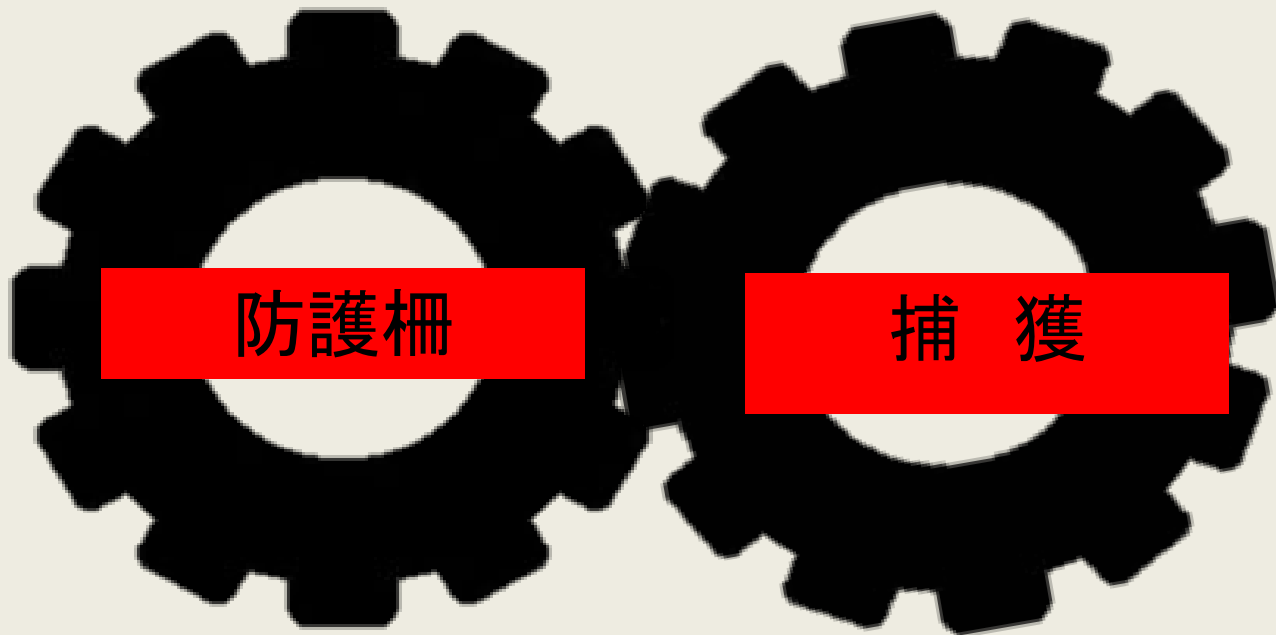
トタン巻の失敗例



トタン巻の失敗例

016 06:29PM LYCAMERA

被害対策



本日の内容

- ①ツキノワグマの基本生態と被害実態
- ②保護管理のポイント
- ③出没を抑制するための考え方と被害対策
- ④出没対応について（関係機関の連携）

住居集合地等におけるツキノワグマ等対応指針

1 目的

ツキノワグマ(以下、クマという)及び危害を及ぼすおそれのある大型獣が住居集合地等に出

没した場合等の現場対応については、人身被害防止の観点から、迅速かつ的確な対応が必要である。また、実際に人身被害が発生した際には関係機関へ迅速な情報伝達と初動対応が必要になる。このため、関係機関が連携して緊急的に対応するために必要な事項を定める。

・
・
・

3 関係機関の連絡体制の構築

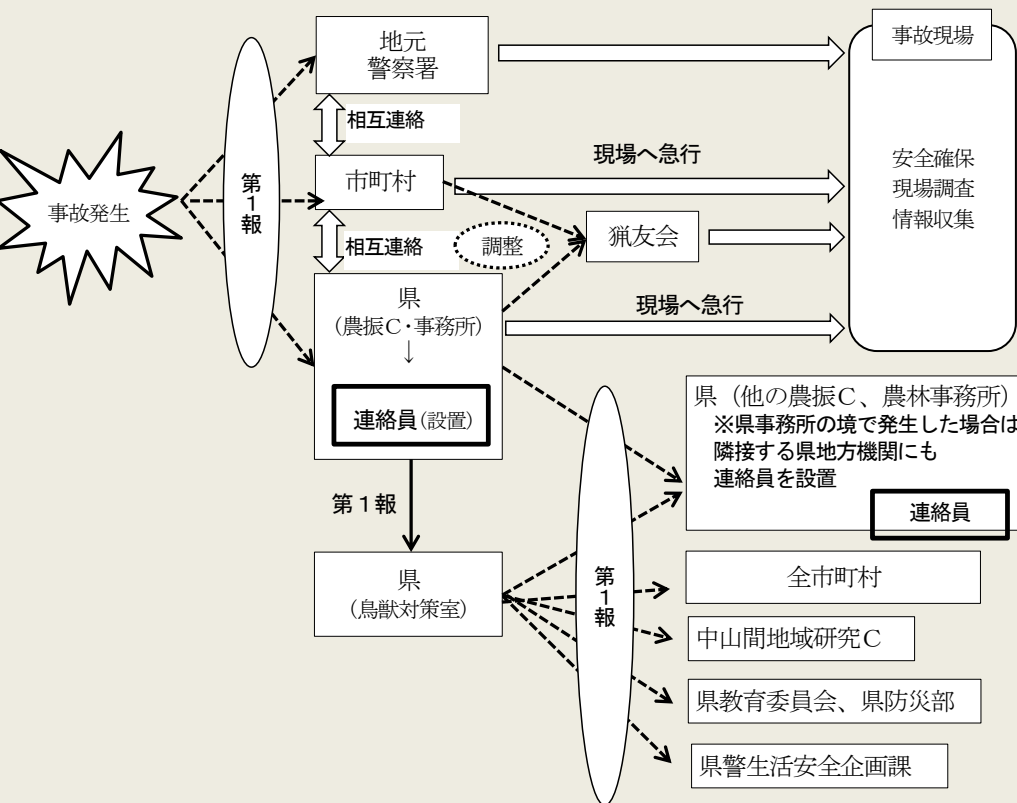
県地方事務所は、年度始めに市町村、地元警察署を参集し、連絡体制及び住民への注意喚起等の連絡手段について確認を行う。なお、近年、島根県内のクマによる人身事故は夜間や休日が発生していることに留意すること。

クマ類の出没対応（環境省）

「クマ類の出没対応マニュアル改定版」

<https://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort12/effort12.html>

【秋田県の事例】 クマ出没対応の机上訓練



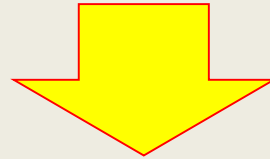
クマ出没対応の連絡体制要領？
クマ出没対応関係者対応ルール？



要領、ルール等があることに満足していませんか？

多様な連携

- ・形式（組織？会議？）だけの連携では意味がない。
- ・被害現場での連携をどう構築していくのか？



まずは、できることから少しずつ実績を積み上げていき、その地域にあった体制、関係性を構築していくことが重要。

出沒・被害の現地で専門的に対応できる人材の配置は多様な連携のカギになる！